

2020年6月22日

各位

「働き方カエル宣言」で新しい生活様式に対応した働きやすい職場づくりをめざします

田辺三菱製薬株式会社（本社：大阪市、代表取締役社長：上野 裕明、以下「当社」）は、新しい生活様式に則した新しい働き方を実現するため、「働き方カエル宣言」と名付けた7つの項目に取り組み、より働きやすい職場環境づくりをめざします。

当社は、2020年4月7日の緊急事態宣言発令を受け、ただちに、機能維持要員を除く全従業員を、原則在宅勤務に切り替えることで、新型コロナウイルス感染症の拡大防止と従業員の安全確保に対処した事業継続に取り組んできました。この在宅勤務期間中、従業員ひとり一人の思いを受け止めるため、毎週金曜日に「Friday Survey」と名付けた従業員意識調査を実施したところ、新しい働き方に対するさまざまな意見や、改善に向けた提案が寄せられました。計7回、のべ12,228名の従業員が回答した本調査結果を受け、特に要望が多かった7つの項目に対し、「働き方カエル宣言」と名付け、新しい生活様式における、より働きやすい職場環境づくりに、全社で取り組みます。

「働き方カエル宣言」の7つの取り組み

1. 感染予防策の徹底：通勤や勤務形態、オフィス環境の整備を徹底します。
 - ✓ 防疫用アクリル板の設置、一部拠点での自転車通勤の許可 など
2. 会議の見直し：部署内の会議において、①時間、②回数、③参加者の半減をめざします。
3. 脱ハンコ：今後一年以内に、法令上必要な書類、および社外への提出書類を除き、社内手続きから押印を廃止します。
 - ✓ 業務フローのデジタル化による「脱ハンコ」の実現 など
4. ペーパーワークの大削減：今後二年をかけて、①オフィスで保管する紙の8割減、②文書のデジタル化、③各種社内手続き書類の原則電子化に取り組みます。
 - ✓ 公的文書および経理書類のペーパーレス化 など
5. 拠点のサテライトオフィス化：各拠点、営業所等を活用し、サテライトオフィスとして整備することで、通勤時間を削減します。
6. テレワーク環境の整備：ネットワークの強化や関連規則等の整備を通して、テレワークの実効性を上げる取り組みを継続して検討・実施します。
 - ✓ 7月1日付けの制度改正で、テレワークの上限回数撤廃（従来の月5回から上限なしへ） など
7. 「Friday Survey」の継続：新たな働き方への意見やアイデアを引き続き募集し、打ち出した施策の進捗を確認します。

働き方カエル宣言

- 👤「感染予防策の徹底」
- 👥「会議の見直し」
- 🚫「脱ハンコ」
- 📄「ペーパーワークの大削減」
- 🏢「拠点のサテライトオフィス化」
- 🌐「テレワーク環境の整備」
- 👤「Friday Surveyの継続」



働き方カエルたなみん

<社内啓発用展開資材イメージ>



<オフィスに設置した防疫用アクリル板>

当社は、新しい生活様式に対応した、より働きやすい「新しい仕事様式」を取り入れることで、医薬品の創製と安定供給を通じて、世界の人々の健康に貢献するという社会的使命を、引き続き果たしてまいります。

以上

田辺三菱製薬株式会社 広報部

(お問合せ先) 報道関係者の皆様

TEL : 06-6205-5119

田辺三菱製薬の概要

田辺三菱製薬は、1678年に創業、日本の医薬品産業発祥の地である大阪の道修町に本社を置き、医療用医薬品事業を中心とする製薬企業として、最も歴史ある老舗企業の一つです。「医薬品の創製を通じて、世界の人々の健康に貢献します」という企業理念のもと、中期経営計画 16-20 では「Open Up the Future – 医療の未来を切り拓く」をキーコンセプトと決めました。重点疾患領域である「免疫炎症」「糖尿病・腎」「中枢神経」「ワクチン」を中心に、アンメット・メディカル・ニーズに応える医薬品の創製を通じて、世界の患者さんの健康に貢献していきます。<https://www.mt-pharma.co.jp/>
